

スヴェーデンボリ 用語辞典

〈あ〉

愛 *Amor*. 愛は靈的な結合以外の何ものでもない、〔靈的な結合は〕それによって生じるから / 秘義 4352:2. それぞれの者の意志は彼の愛である / 天地 479:5. 愛は、自分自身が他の者のものであることの中にあり、その者の楽しさを自分自身の楽しさとして感じる事、これが愛することである / 愛知 47. ☞ 熱意.

愛* *Amores*. 支配愛と一致するすべての意志は、愛されるので愛*と呼ばれる / 天地 477.

愛からの信仰の真理* *Vera fidei ex amore*. 愛からの信仰の真理*は、主への愛と隣人に対する仁愛について扱うものである、なぜなら、それは愛により命じられる真理*であるから / 秘義 9841:4.

愛そのもの *Ipsa Amor*. 主は、愛そのもの、すなわち、慈悲そのものであるので、天的なものそのものである / 秘義 2165:5.

愛, 知恵, 知性 *Amor, Sapientia, Intelligentia*. 愛は善に属するものであり、知恵は真理と一緒にある善に属するものであり、そして知性は善からの真理に属するものである / 天地 186.

愛と知恵 *Amor et sapientia*. 創造者なる神、主の中に神的愛と神的知恵があり、それらはその方である、すなわち、愛そのものと知恵そのものである。というのは、これら二つのものは、善と真理と同じものであるから。その理由は、善は愛のものであり、真理は知恵のものである、というのは、愛は善から、知恵は真理から構成されるから / 結婚 84.

愛の恐れ *Timor amoris*. 愛の恐れは、何らかの方法で主が、何らかの方法で隣人が、したがって、何らかの方法で善と真理が、それゆえに、愛と信仰の聖なるものが、ここから礼拝が損なわれないように〔という恐れである〕 / 秘義 3718.

愛の最初に発出するもの *Primum procedens amoris*. 愛が熱を生み出し、知恵が光を生み出すことは、経験そのものから明らかである。人間は愛するとき熱くなり、知恵から考えるとき物事*をいわば光の中で見ている。このことから、愛の最初に発出するものは熱であり、知恵の最初に発出するものは光である / 愛知 95.

愛の真理* *Vera amoris*. 他の箇所で天的な真理*と呼ばれるそれらの真理*は、愛の真理*と言われるものである、というのは、隣人に対する仁愛と主への愛についての知識*であるから。最高の意味では、その中では主について扱われているが、神的な愛の真理*である / 秘義 3762.

愛の善 *Bonum amoris*. 愛の善は天的な善であり、それは主への愛のものである / 啓示 89. ☞ 生活の善.

愛の天的なもの *Coeleste amoris*. 愛の天的なものは、自分自身のためにでなく、すべての者のために欲し、そのように自分のすべてのものを他の者に与えることを欲することである。愛の天的なものの本質はそのことの中にある / 秘義 1419.

愛の天的なもの* *Coelestia amoris*. 愛の天的なもの*は、エホバに対する愛と隣人に対する愛、それとそれらの中の無垢そのものである / 秘義 1450

愛の友情 *Amicitia amoris*. ☞ 内的な友情.

愛または善 *Amor seu bonum*. 知恵は愛からであるように真理は善からであるので、それゆえ、二つともひとまとめにされて愛または善と呼ばれる / 摂理 13.

あがない *Redemptio*. あがないは、地獄の征服、天界の秩序づけ、その後、教会の設立である / 真教 84.

あがない主なる主 *Dominus redemptor*. あがない主〔なる主〕によって、人間性の中のエホバが意味される / 真教 81.

悪 *Malum*. 本質的に眺められた悪は、そしてまた罪は、善からの分離以外の何ものでもない、悪そのものもまた分裂の中にある / 秘義 4997. 悪は天界に対立するものである、けれども、無垢からの虚偽は〔そのようなものではない。それどころか、もし無知の中に何らかの無垢があるなら、その時、この虚偽は主により真理のように受け入れられる、なぜなら、そのようなものの中にいる者は、真理を受け入れるからである / 秘義 6784:2. 人間のもと悪は人間のもとにある地獄である / 天地 547. 悪は、神的な秩序に反して行ない、考える欲望の快きである / 摂理 279:5. ☞ 悪そのもの、善.

悪からのものである虚偽 *Falsum quod est ex malo*. 二種類の虚偽がある…すなわち、悪からの虚偽と悪を生み出す虚偽である。悪からのものである虚偽は、人間が悪の中にいる時、考えるすべてのものである、すなわち、悪を支持するものである…。けれども、悪を生み出すものである虚偽は、人間が宗教的な信

念からの何らかの原理を得て、ここから善または聖なるものであると信じるものである、そのときそれでも〔それは〕本質的に悪である / 秘義 2243:1, 2. 損ない、殺害するすべての虚偽は、その存在を悪から得ている、なぜなら、悪からの虚偽は、形の中に現われている悪であるから / 秘義 9331:2.

悪そのもの *Ipsum malum*. 自己愛はすべての愛の源、したがって、悪そのものである / 秘義 2246.

悪と虚偽からの支配 *Dominium ex malo et falso*. 悪と虚偽からの支配はすべての者を奴隷にしようと欲すること…すべての者を滅ぼすことである / 秘義 1749:3.

悪と呼ばれるものと虚偽と呼ばれるもの(人間にとって悪と虚偽とは何か)
Quod vocatur malum et quod vocatur falsum. 人間の情愛の快さを滅ぼすものが彼にとって悪であり、ここから彼の思考の楽しさを滅ぼすものが虚偽である / 摂理 195:3.

悪の起源からの悪* *Mala ex origine mali*. 悪の起源からの悪*は、自己と世への愛から生じる欲望である / 秘義 7272:3.

悪の虚偽 *Falsum mali*. 悪の虚偽は…生活の悪からの虚偽の教えである / 秘義 4832. ☞ 虚偽の悪.

悪の虚偽* *Falsa mali*. 悪の中にいる者のもとの虚偽*は悪の虚偽*ある、そして彼らのもとの真理*は虚偽化された真理*であり、それは死んでいる。しかし、善の中にいる者のもとの虚偽*は善として受け入れられる、なぜなら、善により柔和になり、善の役立ちへ適用されるから、また彼らのもとの真理*は善の真理*であり、生きている / 秘義 10,109.

悪の虚偽が混ぜられる真理 *Verum miscetur falso mali*. 真理は、姦淫*・淫行*・殺人*・いろいろな種類の憎しみ*・敵意*・利益のための不正*・狡猾なまたひそかな盗み*や強奪*・欺瞞・ごまかしや同様のものが、みことばの文字どおりの意味によって確信される時、悪の虚偽が混ぜられる。同様に、自己愛の中に、ここから自己知性の高慢の中にいる者によって宗教の虚偽が混ぜられる / 講解 520.

悪の転嫁 *Imputatio mali*. 死後、悪の転嫁は、世の中のように、告訴・告発・けん責・裁判ではなく、悪そのものがこのことを行なう。というのは、悪は、その自由から、善から分離するので、一緒にいることができないからである / 要約 110.

あく

悪の中にいる者 *Qui in malo*. 悪の中にいる者は何も良心を持たない。公正と公平を、ここから名声を…得ることができないかぎり、気にしない。霊的ないのちに働きかける善と真理が何か知らないし、何ものでもないかのように追い払いもする / 秘義 2380:3.

悪の役立ち* *Mali usus*. 悪の役立ち*によって、理性を破壊し、人間が霊的になれないようにするすべてのものが意味される / 愛知 336.

悪の欲望 *Concupiscentia mali*. 悪い者は…無数のいろいろなものから構成された一つの悪であり、それらは区別された悪*であり、悪の欲望と呼ばれているものである / 摂理 296.

悪魔的な愛 *Amor diabolicus*. 悪魔的な愛であるのは、天界と同時に世も支配しようとする愛であるからである。悪魔的な愛と呼ばれるのは、最も深い地獄*からのものであり、そこに、天界のすべてのものを支配し、神々であることを、また彼ら以外に神はいないことを心から信じている悪魔がいるからである / 講解 1126.

悪魔とその仲間 *Diabolus et ejus turba*. 地獄の中には自己愛から支配する愛である支配愛がある。その愛はそこで悪魔と呼ばれ、そして虚偽への情愛*はその愛から生まれる思考*とともにその仲間と呼ばれる / 愛知 273.

悪魔の王国 *Regnum diabolicum*. 天界は二つの王国*に分かれているので、地獄もそれらに対立した二つの王国*、**悪魔の王国**と**サタン**の王国に分かれている。悪魔の王国は自己愛から支配する愛の中に、ここから愚鈍の中にいる者から成り立っている…。サタンの王国はプロプリウムの知性の高慢から支配する愛の中に、ここから狂気の中にいる者から成り立っている / 啓示 387.

悪を生み出す虚偽 *Falsum quod producit malum*. ☞ 悪からのものである虚偽。

悪を罪*として避けること *Fugere mala ut peccata*. 悪*を罪*として避けることは、悪魔のもの、地獄のもの、このように致命的なもの、したがって、それらの中に永遠の断罪(地獄に落とすこと)があるものとして避けることである / 仁愛 i. 1(2).

欺くもの* *Fallaciae*. 欺くもの*は悪*が結合している虚偽*である / 摂理 220:9.

新しい意志 *Novum voluntarium*. 新しい意志(自発性)(直訳:意志の新しいも